

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	文化財情報発信事業			事業番号	13-102
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	教育部	谷亀 博久	教育総務課歴史文化担当	立花 実	

計 画 (Plan)

総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち	
		基本政策	3	人がつながり未来を拓く学び合うまちづくり	
		施策展開の方向	6	いつまでも学び生きがいがあるまちをつくる	
		施策	13	歴史・文化遺産の活用と継承	
予算事業名	文化財ホームページ情報発信事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	実施する規定はない	
事業開始年度	開始年度	平成20年度	～	終了年度	—
関連法令等	文化財保護法、伊勢原市文化財保護条例				
国・県の計画等				計画期間	
関連個別計画	伊勢原市第2期教育振興基本計画 伊勢原市歴史文化基本構想			計画期間	平成30年度～令和4年度
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化の進展もあいまって、歴史や文化財に興味・関心を示す方々が増加しています。 ・IT社会の進展により、インターネットを利用した情報提供、収集活動が定着しています。 				
目的 (何をどうしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・「いせはら文化財サイト」により、市域の貴重な文化財に関する情報発信を行い、文化財を通じた本市の魅力を発信します。 				
主な対象 (誰・何を対象に)	市民等、文化財所有者、活動団体				
事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> ・「いせはら文化財サイト」について、新規メニューを追加し、適宜見直し、更新を図りながら見やすいホームページを作成していきます。 ・日本遺産のストーリーに関連する動画や構成文化財に関する情報の掲載等、市外から伊勢原を訪れてみたいと思わせるような情報の発信を進めていきます。 ・文化財情報の海外への発信を図るため、ホームページの外国語対応を進めていきます。 				
事業行程	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	文化財ホームページ内容更新・追加	掲載内容の更新・追加	掲載内容の更新・追加	掲載内容の更新・追加	
	文化財ホームページの英語版作成	実施	実施	実施	
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
	文化財ホームページ新規コンテンツ数		平成30年度	令和元年度	令和2年度
	—	1件	2件	3件	



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	メニューのうち、個別に翻訳が必要なコンテンツ7つについて英訳を行いました。今後も継続して英訳を進め、英語版を開設していきます。メニューについては見やすさを重視して整理を図り、また、新しい映像コンテンツ等の制作により、それぞれのメニュー内容の充実を図ります。				
実施方法 〔選択・記入〕	● すべて直接実施 ○ 左記以外				
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者		
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先		
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容		
実施結果	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	文化財ホームページ内容更新・追加	実施	掲載内容の更新・追加		
	文化財ホームページの英語版作成	実施	実施		
実施した取組の内容	・いせはら文化財サイトの新たなコンテンツとして、比々多地区の文化財散策ルート等、2件を追加しました。その他、適宜内容の更新、追加を行い、見やすいホームページの作成を心掛けました。また、ホームページの英語版の開設にむけ、必要となるコンテンツの英訳を進めました。				
目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度		
	文化財ホームページ新規コンテンツ数	—	平成30年度 1件	令和元年度 2件	令和2年度

コスト	年度	平成30年度 実績				令和元年度 実績				令和2年度 実績				
	事業費合計 (a)		254	千円	93	千円	0	千円	0	千円	0	千円		
	内訳	国県支出金 ①	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円		
		地方債 ②	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円		
		その他特財 ③	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円		
		一般財源 (a)-①-②-③	254	千円	93	千円	0	千円	0	千円	0	千円		
	国県支出金の内容													
	その他特財の内容	受益者負担	○ 有 ● 無				前回の改定時期							
		その他												
	人件費	正規職員	0.15	人	1,277	千円	0.15	人	1,305	千円	0	人	0	千円
		その他の職員	0	人	0	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
		人件費合計 (b)	0.15	人	1,277	千円	0.15	人	1,305	千円	0	人	0	千円
	トータルコスト (a)+(b)		1,531	千円	1,398	千円	0	千円	0	千円	0	千円		
	単位当たりコスト	対象数	定義	ホームページの閲覧件数		単位	ホームページの閲覧件数		単位	単位				
			対象数	35727	件	32,919	件							
総事業費 / 対象数		43	円	42	円									

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	比々多地区の文化財散策コース等、新コンテンツを2つ加えました。また、各種イベントの開催等の情報を掲載し、最新情報による周知と集客に努めました。一方で、開催後の成果等、一部のメニューについては更新にやや時間を要しました。ホームページの英語化については、個々のコンテンツについて英訳を進め、必要な英語原稿がほぼそろいました。
実施水準 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	A	他都市事業内容等	新しく制作した比々多地区の文化財散策コースの紹介は、地域の文化財を写真を使って紹介するものです。映像ライブラリーとともに、文化財や地域の魅力を視覚的に訴えるコンテンツであり、県内でも充実した内容となっています。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	説明に加えて、写真や動画を利用することで、視覚と聴覚、さらに動きのある印象的な情報提供ができるようになりました。また、文化財公開・活用事業の文化財散策コース整備で設置した解説案内板のコードから、ホームページにアクセスして情報を入力できるようにし、情報提供の相互連携を図りました。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	職員によるメニューづくり等によって効率的なホームページ管理を行いました。



取組の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	職員によるホームページ管理のため、随時の更新が可能な反面、作製に手間のかかるページについては、情報更新が滞ることがありました。コンテンツについては、計画どおりに新規作成されていますが、見やすさを考えた整理も必要となります。また、海外への情報発信へ向けたホームページの英語化については、新規開設に向けた作業を進めていく必要があります。
令和2年度の取組方針		海外への情報発信のため、翻訳した英語原稿を用いて、英語版ホームページの開設作業を進めます。また、制作した新たなコンテンツを加え、視覚的な訴求力を高めながら、それぞれのメニュー内容の充実を図ります。		
所管部長による総評		市内に所在する歴史・文化遺産や認定された日本遺産の価値と意義の理解を促進し、市民に地域への関心を高めていただくとともに、来訪者の増加を目指し、「いせはら文化財サイト」のさらなる充実と迅速なデータ更新、使いやすさの向上を図っていきます。また、海外への情報提供を図るため、英語版ホームページの早期開設を目指します。		